

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第17週、第18週の発生動向

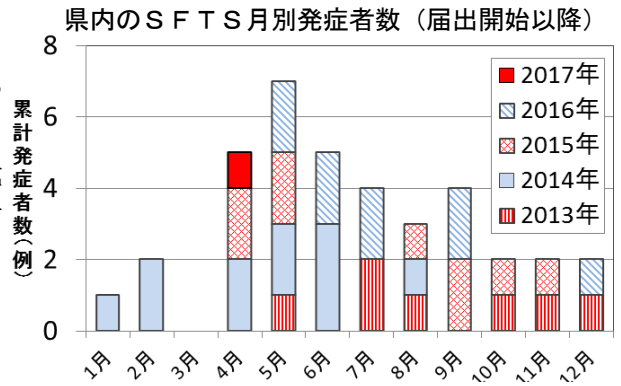
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症)の報告が日南保健所から1例あった。県内での報告は今年初めてで、累計37例(平成25年3月届出開始以降)となった。患者は70歳代女性で、発症は4月下旬であった。ダニの刺し口は有り、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	11	11	10	1



全数報告の感染症(18週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症: 報告なし。2類感染症: 結核5例。3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例。
- 5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、後天性免疫不全症候群1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	結核性リンパ節炎	頸部腫瘍
			80歳代	男	結核性胸膜炎	胸痛
			80歳代	男	肺結核	痰
			90歳代	男	肺結核	発熱、腹部膨満、食欲不振
			延岡	80歳代	男	疑似症患者
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	70歳代	女	-	発熱、嘔吐、食欲不振、血小板減少、白血球減少、刺し口
	レジオネラ症	延岡	80歳代	女	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	-	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC 血清群:A群
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50歳代	男	AIDS	指標疾患: サイトメガロウイルス感染症、HIV脳症

《3週間の推移》

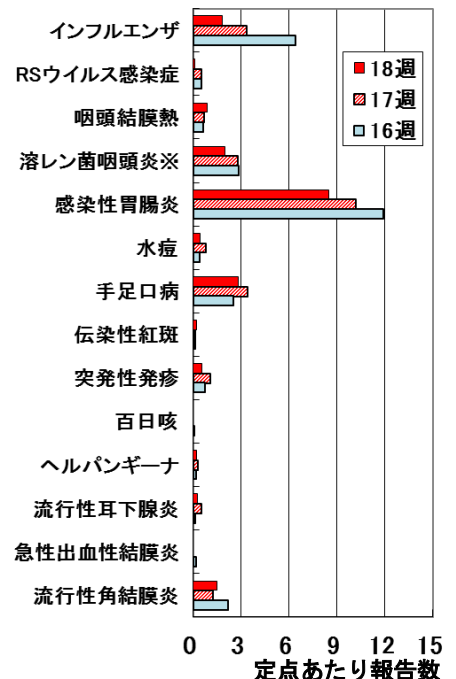
定点把握の対象となる5類感染症

● 第17週

定点医療機関からの報告総数は954人(定点あたり27.7)で、前週比92%と減少した。前週(第16週)に比べ増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎である。

● 第18週

定点医療機関からの報告総数は697人(定点あたり20.1)で、前週比73%と減少した(連休の休診含む)。前週(第17週)に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎である。



★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

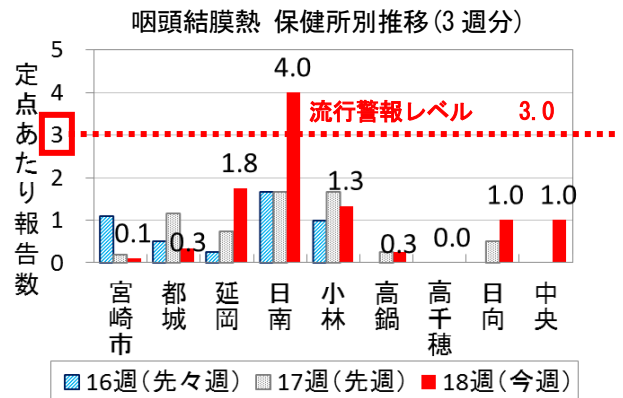
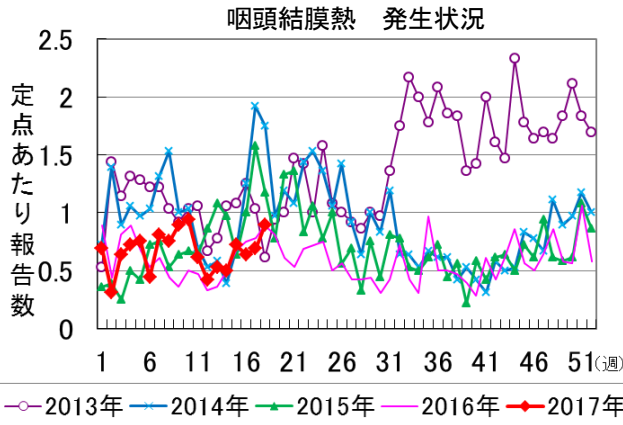
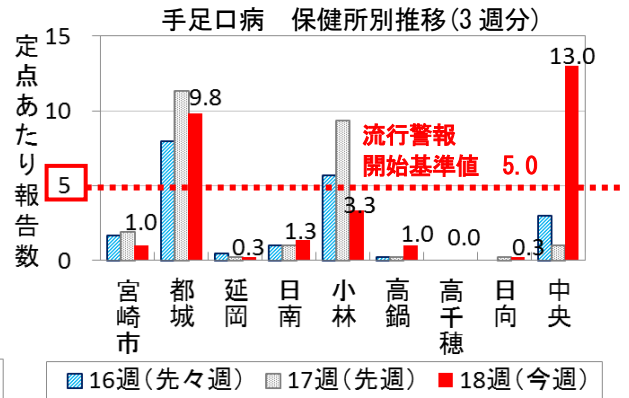
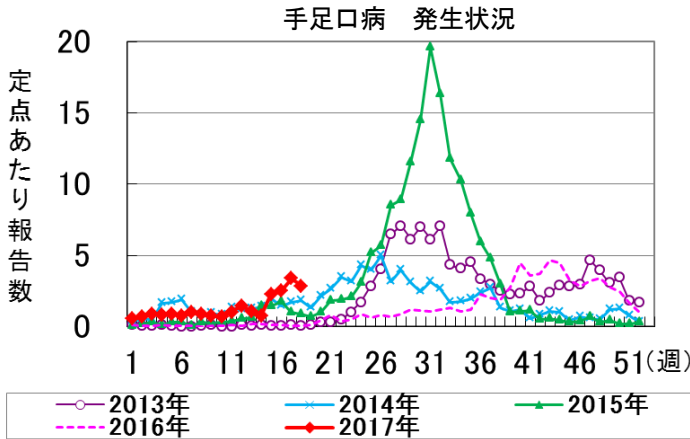
【手足口病】

報告数は 102 人(2.8)で、前週(第 17 週)比 84%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*(1.0)の約 5.2 倍である。中央(13.0)、都城(9.8)、小林(3.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳が全体の約半数を占めた。

【咽頭結膜熱】

報告数は 32 人(0.89)で、前週(第 17 週)比 128%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値*(1.0)の約 0.9 倍である。日南(4.0)、延岡(1.8)、小林(1.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値



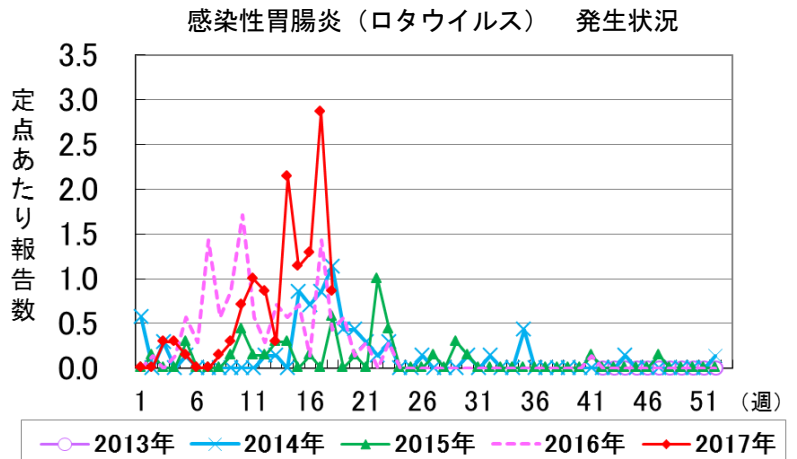
★基幹定点からの報告★

● 第 17 週

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :
宮崎市 (10 例)、高鍋 (8 例)、都城、日南 (各 1 例) 保健所から報告があり、0~4 歳で 14 例、5~9 歳で 5 例、10 歳代で 1 例であった。なお、病原体の群別は不明が 19 例で、レオウイルスの型不明が 1 例であった。

● 第 18 週

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) :
宮崎市 (3 例)、延岡、高鍋、日向 (各 1 例) 保健所から報告があり、0~4 歳が 4 例、5~9 歳が 2 例であった。なお、いずれも病原体の群別は不明であった。



★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	17週	18週
宮崎市	なし	なし
都城	手足口病(11.3)	手足口病(9.8)
延岡	なし	なし
日南	なし	咽頭結膜熱(4.0)
小林	手足口病(9.3)	なし
高鍋	なし	なし
高千穂	なし	なし
日向	なし	なし
中央	なし	手足口病(13.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・手足口病(5.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 29 年 5 月 8 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(OUT:H21)	20歳代	女	2017.04.17	無症状	便	2017.04.25
<i>Salmonella</i> spp.(OUT:Z4,Z23:-)	0～4歳	男	2017.04.19	—	便	2017.04.28
<i>Bordetella parapertussis</i> (パラ百日咳菌)	0～4歳	男	2017.04.25	発熱、肺炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2017.04.25
EPEC(OUT:H28)	不明	男	2017.04.24	—	便	2017.05.02
EPEC(OUT:H28)	不明	女	2017.04.24	—	便	2017.05.02

○20代前半女性の便から、今年度初めて腸管出血性大腸菌（EHEC）が分離された。今回の菌株はベロ毒素遺伝子（*stx*）を保有していたが、腸粘膜への接着に必要なインチミン遺伝子（*eae*）は保有していなかった。EHECは、ヒトの大腸で増殖し、下痢、腹痛、血便などを引き起こす。また、重症例では溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などを合併し、死に至ることもある。気温の上昇とともに、患者数は夏季に増えることから、今後の発生動向に注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2017.02.16	39.0℃、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.05.02
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2017.03.06	インフルエンザA型、39.1℃、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.05.02
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2017.03.06	インフルエンザA型、38.4℃	鼻汁	2017.05.02
インフルエンザウイルスAH3	0～4歳	男	2017.03.06	インフルエンザA型、39.0℃、上気道炎	鼻汁	2017.05.02
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2017.03.21	インフルエンザA型、40.3℃	咽頭ぬぐい液	2017.04.28
インフルエンザウイルスAH3	30歳代	女	2017.03.21	インフルエンザA型、発熱、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2017.04.28
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	女	2017.03.21	インフルエンザA型、発熱、	鼻汁	2017.05.02
インフルエンザウイルスAH1pdm	10歳代	男	2017.03.23	インフルエンザA型	鼻腔咽頭ぬぐい液	2017.04.28
インフルエンザウイルスAH1pdm	5～9歳	男	2017.03.27	インフルエンザA型、39.8℃	咽頭ぬぐい液	2017.05.02

○インフルエンザと診断された8名からインフルエンザウイルスが分離・検出された。また、発熱・呼吸器症状のあった小児の鼻汁からもインフルエンザウイルスが分離された。本県の4月からのインフルエンザウイルス検出状況をみると、AH3が最も多いが、全国の4月のインフルエンザ検出状況をみると、AH3が49件、B（ビクトリア系統）が45件、B（山形系統）が33件とB型の占める割合が高くなっている。インフルエンザの報告数は全国的に減少傾向にあるものの、本県では5月に入ってもインフルエンザの報告がみられるため、今後の動向にも注意する必要がある。

全国 2017 年第 16、17 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

●第 16 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	349 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	21 例	腸チフス	3 例
	E 型肝炎	4 例	A 型肝炎	10 例	つつが虫病	1 例
4類感染症	レジオネラ症	18 例				
	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	16 例
5類感染症	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例	水痘（入院例）	6 例	梅毒	60 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	風しん	4 例	麻しん	7 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	2 例

麻しんの報告数は 7 例であった。大阪府（3 例）、山形県、群馬県、埼玉県、三重県（各 1 例）から報告があり、年齢別では 20 歳代、40 歳代が 3 例ずつ、30 歳代が 1 例であった。

●第 17 週

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	358 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	29 例	腸チフス	3 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎	6 例	オウム病	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	4 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	4 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	22 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	66 例	水痘（入院例）	2 例
	梅毒	81 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	風しん	6 例	麻しん	8 例		

麻しんの報告数は 8 例であった。石川県（2 例）、埼玉県、東京都、新潟県、大阪府、福岡県、熊本県（各 1 例）から報告があり、年齢別では 30 歳代が 3 例、10 歳代が 2 例、20 歳代、40 歳代、50 歳代が 1 例ずつであった。第 1 週から第 17 週までの累積報告数は 158 例となり、山形県（53 例）、三重県（21 例）、東京都（17 例）が多い。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

●第 16 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週（第 15 週）比 110%と増加した。なお、第 16 週に増加した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病で、減少した主な疾患は水痘と流行性耳下腺炎である。

●第 17 週

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週（第 16 週）比 95%と減少した。なお、第 17 週に増加した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RS ウイルス感染症の報告数は 880 人 (0.28) で、前週 (第 16 週) 比 93%と減少した。なお、例年同時期の定点当たり平均値* (0.16) の約 1.8 倍である。沖縄県 (2.9)、鹿児島県 (0.73)、徳島県 (0.61) からの報告が多く、年齢別では 1 歳以下が全体の約 8 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第17週(4月24日～4月30日)

疾病名		第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	378	196	36	50	10	9	44	23	14	7	3
	定点あたり	6.41	3.32	2.25	5.00	1.43	1.80	8.80	3.83	7.00	1.17	1.50
RSウイルス 感染症	報告数	18	18	2	2	1	7		4			2
	定点あたり	0.50	0.50	0.20	0.33	0.25	2.33	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	23	25	2	7	3	5	5	1		2	
	定点あたり	0.64	0.69	0.20	1.17	0.75	1.67	1.67	0.25	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	103	101	44	8	11	7	6	13	4	5	3
	定点あたり	2.86	2.81	4.40	1.33	2.75	2.33	2.00	3.25	4.00	1.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	429	366	86	84	35	45	37	17	6	40	16
	定点あたり	11.92	10.17	8.60	14.00	8.75	15.00	12.33	4.25	6.00	10.00	16.00
水痘	報告数	15	28	3	6	1	5	3	6		4	
	定点あたり	0.42	0.78	0.30	1.00	0.25	1.67	1.00	1.50	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	91	122	19	68	1	3	28	1		1	1
	定点あたり	2.53	3.39	1.90	11.33	0.25	1.00	9.33	0.25	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	5	5		2	2	1					
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.33	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	27	38	9	8	8	1	4	2		3	3
	定点あたり	0.75	1.06	0.90	1.33	2.00	0.33	1.33	0.50	0.00	0.75	3.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	11	8	1			2				
	定点あたり	0.17	0.31	0.80	0.17	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	18		1	9	1		4		3	
	定点あたり	0.14	0.50	0.00	0.17	2.25	0.33	0.00	1.00	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	6	6								
	定点あたり	2.20	1.20	3.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	9	20	10	1		1		8			
	定点あたり	1.29	2.86	10.00	1.00	0.00	1.00	0.00	8.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～17週)

2類感染症	結核	77例(3)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例			
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	6例	レジオネラ症
					3例(1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症
	水痘(入院例)	1例	梅毒	5例	破傷風
					1例

()内は今週届出分、再掲

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第18週(5月1日～5月7日)

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	196	109	32	13	18	10	16	8	9	3	
	定点あたり	3.32	1.85	2.00	1.30	2.57	2.00	3.20	1.33	4.50	0.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	18	3			1	1				1	
	定点あたり	0.50	0.08	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	25	32	1	2	7	12	4	1		4	1
	定点あたり	0.69	0.89	0.10	0.33	1.75	4.00	1.33	0.25	0.00	1.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	101	72	27	11	9	6	1	8	1	3	6
	定点あたり	2.81	2.00	2.70	1.83	2.25	2.00	0.33	2.00	1.00	0.75	6.00
感染性胃腸炎	報告数	366	306	93	73	42	32	24	17	1	20	4
	定点あたり	10.17	8.50	9.30	12.17	10.50	10.67	8.00	4.25	1.00	5.00	4.00
水痘	報告数	28	15	1	3	6	3	1			1	
	定点あたり	0.78	0.42	0.10	0.50	1.50	1.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	122	102	10	59	1	4	10	4		1	13
	定点あたり	3.39	2.83	1.00	9.83	0.25	1.33	3.33	1.00	0.00	0.25	13.00
伝染性紅斑	報告数	5	7			3	4					
	定点あたり	0.14	0.19	0.00	0.00	0.75	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	38	20	6	2	4	2		3		2	1
	定点あたり	1.06	0.56	0.60	0.33	1.00	0.67	0.00	0.75	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	7		3	1			1			2
	定点あたり	0.31	0.19	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	18	9	4	1		1		2		1	
	定点あたり	0.50	0.25	0.40	0.17	0.00	0.33	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	9	7	2							
	定点あたり	1.20	1.50	2.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	20	6	3		1			1		1	
	定点あたり	2.86	0.86	3.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～18週)

2類感染症	結核	79例(2)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例			
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)	つつが虫病
	レジオネラ症	3例			
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	後天性免疫不全症候群	5例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症
	水痘(入院例)	1例	梅毒	5例	破傷風

()内は今週届出分、再掲